

は し が き

この記録は、平成24年12月16日執行の第46回衆議院議員総選挙及び第22回最高裁判所裁判官国民審査、平成25年7月21日執行の第23回参議院議員通常選挙、平成25年5月19日執行の福岡県議会議員補欠選挙（築上郡・豊前市選挙区）、平成24年8月2日執行の海区漁業調整委員会委員一般選挙並びに平成24年1月から平成25年11月までの間に執行された市町村の長及び議会議員の選挙の結果をまとめたものです。

第46回衆議院議員総選挙は、多数の政党が立候補を届け出るなど、大変注目された選挙でしたが、投票率につきましては、小選挙区選出議員選挙の全国平均が59.32%と、戦後最低のものとなりました。

本県におきましても、県平均（小選挙区）で57.34%と、前回総選挙の68.77%に比べて11.43ポイント下降し、全国平均を下回る結果となりました。

また、第23回参議院議員通常選挙は、インターネットを利用した選挙運動が解禁されて初めての国政選挙となり、有権者の関心が高まるのではないかと期待されましたが、選挙区選出議員選挙の全国平均投票率は52.61%と、戦後3番目に低いものとなりました。

本県の県平均（選挙区）投票率につきましても、49.36%と前回通常選挙に比べ6.71ポイント低下したところです。

総選挙については、年末の慌ただしい中、解散から選挙期日まで30日という短期間で行われ、通常選挙については、直前に成年被後見人の選挙権回復及び外部立会人制度の導入等に係る公職選挙法の改正が行われるなど、選挙の管理執行にあたって、各市区町村選挙管理委員会の方々には大変な御苦勞があったことと存じます。

このような中、管理執行面において大過なく終了できましたことは、各市区町村の選挙管理委員会の皆様並びに関係各位の御協力の賜物と深く感謝する次第です。

ここに、これらの選挙の記録をとりまとめましたので、この記録を関係各方面で御活用いただければ幸いに存じます。

平成26年3月

福岡県選挙管理委員会
委員長 藤井克己